

那須茶臼岳山行報告書

(山域) 那須連峰 茶臼岳

(コース) 大丸駐車場～峠の茶屋～峰の茶屋～茶臼岳～峰の茶屋～大丸駐車場

(日時) 12月17日(土曜日)

(天候) 雪・風雪強(峰の茶屋以降)

(参加者) CL:内堀(記録)・小宮山

(山行タイム)

大丸駐車場 9:20～峰の茶屋 11:30～茶臼岳 12:55～峰の茶屋 13:50～大丸駐車場 14:50

(山行報告)

私が前日、木曜日から金曜日まで出張で、金曜日の夜、盛岡で忘年会を行い、最終新幹線で移動して、大宮駅西口で集合した。東北道の岩槻ICから那須ICまで一気に向かう、本日私はお酒を飲んでいるので、運転出来ずただ横に行くだけの人になってしまった。

那須ICを降りて途中、コンビニで買い物を済ませ、道の駅「那須高原友愛の森」にて、早々に仮眠する。翌朝、飲み過ぎから起きられず6:30頃起床となってしまった。お湯を沸かし朝食を取り出発して、大丸駐車場を目指す。一本道で迷うことは無い。朝より小雪が舞い降りて道の駅では従業員が雪かきに専念していた。那須湯元から道路に雪が付いており、慎重に進める。大丸駐車場に到着した頃にはかなりの雪が降っており、雪山を感じさせる。駐車場では何グループ化は登山出発の準備をして、先に出て行った。我々も準備を済ませ、途中まではツポ足で向かうと決め進む。樹林帯のため、トレースは残っているがまだ付いたばかりである。2/3日の間で相当積もった事が伺える。トレース跡を慎重に進み、峠の茶屋を過ぎ山の神(鳥居)で本日の山行安全を祈願して進む。この頃になると深い所は膝まで来ており、50cmあろうかと積もっていた。樹林帯を抜ける手前で7-8人の集団グループに逢う。この先、少しずつ風が強くなり、登山道は氷となる箇所があり、アイゼンを装着する。更に進むと風が強くなりゴーグルを装着して進む。本日何時もより寒く感じると思いながら進み、何とか峰の茶屋に潜り込む。中で軽く行動食を食べ、この先どうするか決めるが、団体さんは行くことを決め、後から来た一人は途中まで行って引返したとの事、私に根掘り葉掘り聞いてきて、結局その方も再度チャレンジするため、出発して行った。外に出てアイゼンを装着して出発する。このアイゼン装着が一番寒かったな。この道は行きなれた道のため、風は強いが迷うことなく進む。多分20m近い風が吹いていた様である。途中何度か体が持って行かれそうになり、体勢を確保するのが大変であった。茶臼岳までの道は広いため、途中何度か周囲を確認しながら進み、1H弱で茶臼岳山頂に到着する。山頂の標識の温度計は-20℃を指しており、本日の寒さが身に染みる。また、この風である体感的にはそれ以上の寒さを感じた。山頂では記念撮影と祠に参拝をして、下山時の安全祈願をして元の道に戻る。やはり、下山時は顔にまともに風を受ける。道もホワイトアウトしており、トレースはほぼ消えている。ようやく峰の茶屋が見えた時はホットする。小屋には入らず、そのまま、下山をする。小屋先のトラバース道はかなり雪が深くなっており、膝上まで雪がもぐりこみ、ゆっくり進む。その先も風の影響で、トレースはなく本日の風の強さを感じる。ようやく樹林が見え、その先はしっかりしたトレースと風が嘘のようにピタッと止まってしまい。汗をかきながらの下山をとる。山の神の鳥居を過ぎ、大丸駐車場に到着した時にはヤレヤレであった。今シーズン初雪山にしてチョット厳しい山行になってしまった。この後の山行の準備、心構えが出来たことは間違いなさそうである。これからの雪山に向けて一人、心の中で氣勢を上げていた。

帰りは那須湯本にある「鹿の湯」に入る。いきなり43℃の温泉に入り即飛び出てしまった。この温泉場所も中々風情がある温泉場所であった。但し、体は洗えない。シャンプー・石鹸は使用禁止。温泉後は、途中SA遅い昼食を食べ帰葉した。





以上